

# 防災・減災・レジリエンス

## — 災害への対応支援と情報提供 —

近年の災害の多様化とIT等の高度な技術に依存する都市化の進展にともなって、災害がもたらす社会への影響は複雑なものとなっており、防災・減災・レジリエンスに対する研究の貢献が期待されています。

防災に係る研究を推進するには、情報の収集、有効性の実証研究、実用化など、様々なフェーズにおいて産官学の各種機関とのコミュニケーションを図る必要があります。

そこで今回は、東京電機大学の2名の先生に下記のテーマについて講演をお願いし、防災・減災の技術について解説して頂きます。

講演後には、講師の先生方や大学スタッフとの交流・名刺交換の場も設けております。

つきましては、防災や減災、また、東京電機大学との産官学連携に関心の高い皆様に、一助となりますようご案内申し上げます。

[開催要領](#)

[参加申込書](#)

[会場案内](#)

### ◆ 講演会

#### テーマ①「LPWA(省電力広域無線)を利用した 新たなモニタリングシステムで水害に備える」

講師：小林 亘 東京電機大学 研究推進社会連携センター 教授  
総合研究所 レジリエントスマートシティ研究所 所長

講演概要：台風やゲリラ豪雨、高潮などにより多様な水害が発生しています。水害に備えるためには、新たなモニタリング体制の構築が必要となります。現在、LPWA(省電力広域無線)を用いた新たな浸水センサを実験中で、これまでの取り組みと課題についてお話しします。

#### テーマ②「災害時の事業継続計画(BCP)と 建物の復旧性(レジリエンス)について」

講師：朝川 剛 東京電機大学 未来科学部 建築学科 准教授

講演概要：大地震などの災害後に事業を継続するためには、建物の安全性を確保するだけでなく、機能維持と被害に対する早期回復が求められます。今回は、建物の地震時診断(モニタリングシステム)なども含め復旧性を高めるための対応についてお話しします。

### ◆ 懇親会 参加者全員による立食形式の懇親・名刺交換会

日時：2019年12月12日(木) 14:20~18:00

会場：東京電機大学 東京千住キャンパス

参加費：無料(懇親会を含む)

定員：60名(先着順)

締切：2019年12月9日(月)(但し定員になり次第締切り)